

一般社団法人日本老年歯科医学会 平成28年度第6回理事会（持ち回りメール会議）議事録

日 時：平成28年11月2日（水）～11月8日（火）

場 所：メール会議

承認日：平成28年11月8日（火）付け

送付者：櫻井 薫 理事長、下山和弘、羽村 章両副理事長

佐藤裕二、水口俊介、深山治久、那須郁夫、福島正義、菊谷 武、市川哲雄、菅 武雄
戸原玄、小野高裕、河相安彦、片倉朗、眞木吉信、石黒幸枝、松尾浩一郎、小正裕
渡邊裕、岩佐康行、平野浩彦、服部佳功、米山武義、高井良招、角 保徳、山崎裕
津賀一弘、阪口英夫

各理事
(計29名)

I. 協議事項：

- 1 「脳卒中患者への医科歯科連携がおよぼす効果に関するガイドライン作成WG」について
下記の事業およびワーキンググループメンバーを承認した。

本事業の内容

これまで脳卒中患者に対する口腔ケアの効果にはいくつか報告はあるが内容が整理されているとはいえない。また、回復期の患者での胃瘻離脱率は30-40%程度、在宅の胃瘻患者でも8割以上が誤嚥せずに経口摂取の訓練可能との報告もあるため、当該患者に対する医科歯科連携は重要である。そのような視点から前原健寿(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科脳神経機能外科学分野 教授)を代表として日本医療研究開発機構循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業「脳卒中急性期における口腔機能管理法の開発に関する研究」が組織されている。脳卒中患者に対する歯科介入の効果を臨床データから前向きに検証するとともに、他に利用しやすい形で複数の側面から整理した口腔機能の管理方法を開発し、併せて退院後の状況を観察することでより効果的な介入方法を明らかにすることを目的としている。

脳卒中患者への医科歯科連携がおよぼす効果に関するガイドライン作成WG

WG長

戸原 玄 (理事、摂食リハビリテーション委員会、AMED 研究分担者、東京医歯大)

WGメンバー

永尾 寛 (学術委員会、徳島大学)

松尾浩一郎 (学術委員会、藤田保健衛生大学)

中島 純子 (ガイドライン委員会、防衛医科大学)

糸田昌隆 (社会保険、支部、広報副委員長、わかくさ竜間リハビリテーション病院)

中根 綾子 (AMED 研究分担者、WG 幹事、東京医歯大高齢者歯科学分野)

金澤 学 (学術委員会幹事、東京医歯大)、

飯田 貴俊 (神奈川歯科大学)

中川 量晴 (藤田保健衛生大学)

中山 澗利 (日本大学)

三串 伸哉 (長崎大学)

尾崎健一郎 (足利日赤病院)

田中信和 (大阪大学)

陪席

水口俊介 (常任理事、学術委員長、AMED 研究分担者、東京医歯大)

- 2 平成 28 年度 第 2 回 認定医および認定医制度指導医の更新承認について
9 名の更新認定を承認した。
- 3 平成 28 年度 第 3 回 専門医および専門医制度指導医の更新承認について
44 名を更新認定および、うち 10 名についての終身専門医制度指導医を承認した。
- 4 平成 28 年度 第 2 回 専門医研修機関の更新認定について
26 施設の更新認定を承認した。

以上